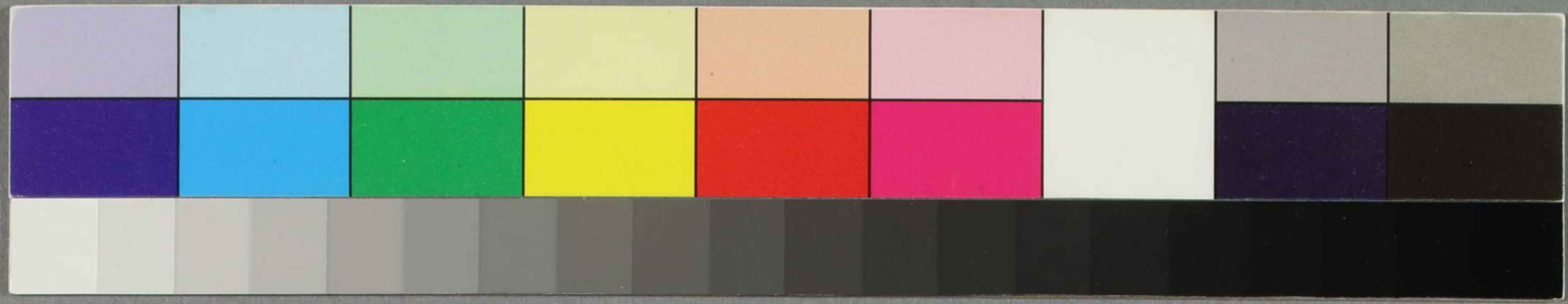


ついで
 月の東 わづ
 若 はら
 成 なり
 たる なり

特別
 千13
 3849
 17(2)





413
3849
17(2)

役者三叶和
自縁

大あかち

さそぐの

あざの

款

ひさ

折紙の

まひ

あざ

あ

進

立役の



自縁



上吉 津打門三郎 青丸

上上吉 秋川辰蔵五郎 旧庄

上上吉 富沢辰十郎 旧庄

上上吉 坂田辰十郎 旧庄

上上吉 三原辰十郎 旧庄

上上 早川徳五郎 中村丸

上上 沢村辰五郎 中村丸

上上 山中平九郎 旧庄

上上 市川辰五郎 中村丸

上上 市川辰十郎 中村丸

上上 市川辰五郎 中村丸

上上 市川辰五郎 中村丸

上上 市川辰五郎 中村丸

上上 市川辰五郎 中村丸

上上 市川辰五郎 中村丸

上上 市川辰五郎 中村丸

上上 市川辰五郎 中村丸

上上 市川辰五郎 中村丸

上上 市川辰五郎 中村丸

上上 市川辰五郎 中村丸

上上 市川辰五郎 中村丸

上上 市川辰五郎 中村丸

上上吉 中村助太郎

上上吉 中村助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 大谷助太郎

上上吉 大谷助太郎

上上吉 大谷助太郎

上上吉 大谷助太郎

上上吉 大谷助太郎

上上吉 大谷助太郎

上上吉 大谷助太郎

上上吉 大谷助太郎

上上吉 大谷助太郎

上上吉 大谷助太郎

上上吉 大谷助太郎

上上吉 大谷助太郎

道戯取之部

上上吉 松浦清太郎

上上吉 嵐 名八

上上吉 中村八十吉

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上上吉 市川助太郎

上吉 小川 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 小川 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

上吉 尾 兼次郎 中見

一 淡川金書 せん 一 淡川高松 せん
一 神宮松葉 せん 一 淡川高松 せん
一 三の川より せん 一 淡中交部 せん

▲市村松色子の分

一 三の川系七 せん 一 淡中交部 せん
一 嵐三交部 せん 一 淡中交部 せん
一 三の川松葉 せん 一 坂田松葉 せん
一 芳次吉松 せん 一 芳次吉松 せん
一 大和川松葉 せん 一 嵐市松葉 せん
一 三の川松葉 せん 一 松浦松葉 せん
一 三の川松葉 せん 一 淡中交部 せん
一 三の川松葉 せん 一 三の川松葉 せん
一 三の川松葉 せん 一 三の川松葉 せん
一 三の川松葉 せん 一 三の川松葉 せん

▲淡中交部の子の分

一 淡中交部 せん 一 淡中交部 せん
一 淡中交部 せん 一 淡中交部 せん
一 淡中交部 せん 一 淡中交部 せん
一 淡中交部 せん 一 淡中交部 せん

一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん

▲松平金書の子の分

一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん

一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん

一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん

▲子收之部

一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん
一 松平金書 せん 一 松平金書 せん

▲若原夏之部
上吉 中村信之部

上吉 市村忠之部
法後忠と加藤を退死魔

上吉 中村初三郎 幸元
一死といふと軍記らひ

上吉 赤田初 幸元
其原信俊のひろき一候

▲板のつやまこと

上吉 大石廣次 中村
はとも原もさつらふ大石

上吉 市村宗信 幸元
惣巻軸 信後休てめてねと出あひ

立役事しの飛雲村若原夏

印

▲若原夏之部
中村信之部

南原の梅記 渭水の揚柳 西
向の柳記 辰やさうさう

唐ももあつまうとあだをひ
盛府 松舟 幸元 中村 幸元

人の礼ありふ 縁ゆ境もけと
有まうとと 村宗 大石 幸元

あり相好くと 及子あまのしとひ
坂東と三乗ね 小八 幸元 幸元

あまたはくしと 艘もけととひ
大石 信俊 田川 幸元 幸元

幸元 幸元 幸元 幸元
佐例の彼若原判の執向とら
海んのの形も六通の口利たる

あんなに...の...
婿親鑑
 市村産
 款凡世

おの...
 中...
 大...
 大...

大...
 大...
 大...
 大...

大...
 大...
 大...
 大...

大...
 大...
 大...
 大...

大...
 大...
 大...
 大...

大...
 大...
 大...
 大...

大...
 大...
 大...
 大...

大...
 大...
 大...
 大...

大...
 大...
 大...
 大...

大...
 大...
 大...
 大...

大...
 大...
 大...
 大...

大...
 大...
 大...
 大...

乳母傳書日記
新八世
松田彦

いりふた三
松田幸四郎

ちのめ
僕村三郎

大どろ

きりむのせ
中津勘次郎

この時を三
松田若十郎

二復の居
松平幸四郎

この公の
松田若十郎

大どろ

すけと三
三原勘次郎



松田幸四郎

松田幸四郎

松田幸四郎

松田幸四郎

松田幸四郎

松田幸四郎

松田幸四郎

松田幸四郎



茶守のふたは浦の志を合ふ所の
有持集りてあふれは行のたはる

上上 大 露谷南小 青見

上上 田 中村八十石 青見

田 南の田は田の谷を合ふ娘は村集

多の田は田の谷を合ふ娘は村集

は集りてあふれは行のたはる

八十石の田は田の谷を合ふ娘は村集

とあふれは行のたはる

▲花車形三部

上吉 田 沢村源次郎 青見

田 は田の谷を合ふ娘は村集

りあふれは行のたはる

上 田 花車形三部

田 は田の谷を合ふ娘は村集

▲若くは散之部

榎上言 田 瀬川兼之丞 青見

田 は田の谷を合ふ娘は村集

中しあふれは行のたはる

風天の田は田の谷を合ふ娘は村集

中しあふれは行のたはる

多の田は田の谷を合ふ娘は村集

は集りてあふれは行のたはる

多の田は田の谷を合ふ娘は村集

は集りてあふれは行のたはる

多の田は田の谷を合ふ娘は村集

は集りてあふれは行のたはる



多の田は田の谷を合ふ娘は村集

は集りてあふれは行のたはる


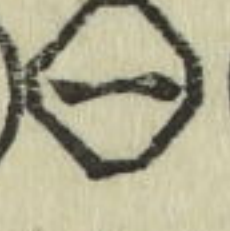
多の田は田の谷を合ふ娘は村集



は集りてあふれは行のたはる



うらまひの御事等々
 上上  角田  丸

 藤原 藤原 藤原 藤原
 上上  角田 藤原 藤原 藤原

上上  角田 藤原 藤原 藤原


上上  角田 藤原 藤原 藤原
 上上  角田 藤原 藤原 藤原


上上  角田 藤原 藤原 藤原
 上上  角田 藤原 藤原 藤原


上上  角田 藤原 藤原 藤原
 上上  角田 藤原 藤原 藤原


上吉  角田 藤原 藤原 藤原

上吉  角田 藤原 藤原 藤原

上吉  角田 藤原 藤原 藤原

上吉  角田 藤原 藤原 藤原

上吉  角田 藤原 藤原 藤原

上吉  角田 藤原 藤原 藤原

其の事元元の事なりと云ふ
其の事元元の事なりと云ふ
其の事元元の事なりと云ふ
其の事元元の事なりと云ふ
其の事元元の事なりと云ふ
其の事元元の事なりと云ふ
其の事元元の事なりと云ふ
其の事元元の事なりと云ふ
其の事元元の事なりと云ふ
其の事元元の事なりと云ふ

延喜三年丙寅三月廿一日

作者 其美

系物可通は院下所
公家名は院下所

▲ 叔父の事

延喜三年丙寅三月廿一日

延喜三年丙寅三月廿一日

延喜三年丙寅三月廿一日

延喜三年丙寅三月廿一日

延喜三年丙寅三月廿一日

延喜三年丙寅三月廿一日

延喜三年丙寅三月廿一日

延喜三年丙寅三月廿一日

延喜三年丙寅三月廿一日

延喜三年丙寅三月廿一日

延喜三年丙寅三月廿一日

延喜三年丙寅三月廿一日

延喜三年丙寅三月廿一日

Handwritten text in a cursive script, likely a continuation from the previous page. The characters are dense and difficult to decipher without specialized knowledge of the script.

Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or record. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference, located below the main body of text.

Handwritten text, possibly a signature or a title, located at the bottom left of the page.



